



JAPAN Best Incentive Travel Awards 2018

左から 日本政府観光局 清野 智 理事長、MPI Japan Chapter 山本 牧子 名誉会長、
 貢献賞受賞者：JTB Australia Pty. Ltd. ハーディ 久美子 アウトバウンド事業部長、
 企画賞受賞者：Kulin Kumar Holidays Pvt. Ltd. Kulin Shah C.E.O、
 大賞受賞者：康福旅行社/可楽旅遊 Richard Chiu Production Dept. Senior Manager、
 東洋大学 国際観光学部 国際観光学科 矢ヶ崎 紀子 教授、観光庁 井上 学 参事官、日本政府観光局 小堀 守 理事

日本政府観光局 (JNTO) は、優れた訪日インセンティブ旅行を表彰する「JAPAN Best Incentive Travel Awards 2018」の受賞者を決定。9月、ホテルニューオータニ東京で授賞式を執り行った。

今年で3回目となる「JAPAN Best Incentive Travel Awards」は、訪日インセンティブ旅行のベスト・プラクティス事例の共有と表彰により、国内外の MICE関係者の理解と意欲向上、訪日インセンティブ旅行市場の活性化を目的とする。

「JAPAN Best Incentive Travel Awards 2018」では、2017 (平成29) 年度に実施された 100 人泊*以上の訪日インセンティブ旅行を応募の条件として、全世界の旅行会社やミーティングプランナーから開催地の特色を活かしたプログラムを募集。応募総数は、79 件に上った。

受賞案件は、旅行後の職員のモチベーションや業績の向上、



広域観光を組み合わせる特色あるプログラム、訪問地域との連携による地域創生・地域活性化への貢献、といった点において特に優れた企画 3 件。《大賞》には、康福旅行社/可楽旅遊 (台湾)「粉雪舞う 東北函館」、《企画賞》に Kulin Kumar Holidays Pvt. Ltd. (インド)「Tungaloy India Pvt. Ltd.」、《貢献賞》に JTB Australia Pty. Ltd. (オーストラリア)「TOP ACHIEVERS OKINAWA TOUR 2017」が選出された。なお選定にあたっては、外部有識者で構成する審査委員会を経た。受賞者には、副賞として「VISIT JAPAN トラベル&MICE マート」の前日に開催した表彰式への招待、クリスタルトロフィーおよび広報活動に利用できるロゴマークが授与された。

表彰式は、JNTOの小堀 守 理事の「本事業を通じて、多様性に富んだ日本の魅力を伝えたい」とする挨拶に始まった。乾杯の挨拶に立った観光庁井上 学 国際観光課MICE推進室長兼 参事官は、7月に発表された「MICE国際競争力強化に向けたとりまとめ」に掲げる官民が一体となってめざすべきMICE全体目標の設定に触れ、インセンティブ旅行市場拡大の重要性と共に、地域創生を実現する官民が一体となった取り組み推進およびMICE推進プラットフォーム強化を説いた。さらに自然と共生する先進学術研究や未来を拓くビジネス環境など、日本の融合の魅力、顧客のニーズに応える高品質な開催環境をより一層推進する活動を支援していくとコメントした。

*人泊：参加者1名が1泊した数 (例：20名×5泊=100人泊)

ベストプラクティスの共有



大賞受賞者の康福旅行社/可楽旅遊は、年間35万人を日本に送客する。5日間、495人が参加した台湾の自動車メーカーの販売優秀者を対象としたツアー。

プレゼンテーションを行った Production Dept. Senior Manager の Richard Chiu 氏は、主催会社は日本を大変好み、年に1~2回、営業成績優秀者を対象としたツアーを開催している。中には、既に十数回にわたり日本を訪問している参加者もあることから、「過去のツアーと重複しない、魅力的なプログラムが求められた」とし、東北と北海道を組み合わせた。

①日本の冬というシーズンならではの風景、②伝統のスタイル体験、③地元とのふれあい、④リラックス、⑤雪遊び、⑥ショッピングなど、クライアントのリクエストに、蔵王の樹氷、温泉で浴衣を着て懐石料理でのパーティ、ねぶた祭など、多様な地域資源で応えている。特に雪景色を楽しみながらイカを焼いた津軽鉄道のストーブ列車と、テクノロジーを結集した新幹線を対比・共存させた手腕は素晴らしい。



企画賞受賞者は、42年の歴史を持ち日本へのツアー開始12年を迎える Kulin Kumar Holidays Pvt. Ltd.。8日間、53人が参加したツアーは、インドの金属部品メーカーの社員を対象に、いわき市の本社訪問を軸とする。またこのメー

カーは、毎年、日本にグループを送っており、企画面では研修と休日、つまりビジネスとしての“オン”と“オフ”を存分に楽しむこと、ベジタリアンなどの参加者にも人気の日本食を楽しんでもらえることなどに留意したと言う。

プレゼンテーションを行ったC.E.Oの Kulin Shah 氏は、「東京へは朝8時に到着、その日のうちに自社製品の果たす役割を視察したパナソニックリビング、浅草、スカイツリーをめぐる東京シティツアーを行った」としたが、富士山、フラワーパーク、軽井沢、扇沢、立山アルペンルート、富山と、精力的なプログラムが組まれている。しかしこのツアーの軸は本社訪問で、工場視察、セミナー、ガラディナーが2日間にわたりプログラムされた。日本企業のグローバル化進展の中で、市場モデルとなる事例である。



貢献賞受賞者は、2度目の受賞となった JTB Australia Pty. Ltd.。今回の受賞は10日間、67人が参加したオーストラリアの自動車メーカーの販売成績優秀者とその家族を対象とするツアー。

プレゼンテーションを行ったアウトバウンド事業部長のハーディ 久美子氏は、「ポイントは2つの文化を結びつけること」とした上で、「今回はパートナーやご家族との参加であること、旅慣れており既に日本各地を訪問している参加者が多いことから、開催地に沖縄を選択した」と言う。旅程ではブリスベン、メルボルン、シドニー、アデレード、パースから出発した参加者が東京に到着。東京ではフォーマルなディナーを楽しんでいる。この間、オーストラリアから帯同したプロが子どもたちをケアした。沖縄ではバーベキューや美ら海

水族館、万座毛、津堅島でのマリンスポーツを楽しむ。さらに自由行動の一日は家族で思い思いに過ごす特別な日とし、食事もミールクーポン対応とした。また文化の日とした一日は首里城や海軍司令部壕など、沖縄の歴史や文化に触れるプログラムが用意された。

プレゼンテーションの後、東洋大学国際観光学部 国際観光学科 矢ヶ崎 紀子 教授が、審査委員を代表して「我々は、効果性、独創性、地域貢献の3点をもとに厳選な審査を行った」と講評。「貢献賞は、都市とリゾートをめぐる、今後、日本が誘致したいタイプ。東京ディズニーランド、沖縄のビーチや歴史・文化が華やかにプログラムされた」、「企画賞は、本社訪問を核とするオーソドックスなタイプだが、潜在力のあるインドという新興市場開拓のモデルであり、海外進出を果たす日本企業にも取り組みやすい好事例。またインセンティブのトレンドである教育の要素をしっかりと踏まえていることも評価対象となった」、「大賞は、効果性、独創性、地域貢献、そのすべてにユニークで優れた案件であり、わが国が豊富なインセンティブ旅行の資源を有することを示してくれた」と評した。また続けて「毎年、応募が増えていることをうれしく思う」とする一方で、「本事業は、世界水準のMICEデスティネーションとしての日本のブランド力を世界に発信することも大きな目的。全世界から素晴らしいベストプラクティスが応募されることを願っている」とコメントした。

最後に、日本政府観光局 清野 智 理事長は、「このように素晴らしいインセンティブ旅行が、日本で行われていることをうれしく思う。同時に、企画をいただいた皆さんに感謝」とし、「JNTOでは、今後もインセンティブ旅行市場の拡大に向け支援を行う」と述べると共に、「関係者が知識やリソースを共有し、よりバラエティに富んだユニークな企画をいただけることに期待をしている」とコメントした。

「JAPAN Best Incentive Travel Awards 2018」受賞者

大 賞			
イベント名	粉雪舞う東北函館	日数・参加人数	5日間・495名
受賞者	康福旅行社(可楽旅遊)	所在国・地域	台湾
受賞理由	<p>自動車メーカーの販売成績優秀者を対象としたツアー。 仙台に到着後、蔵王、青森から新幹線で函館に入るユニークな日程で、冬の東北と函館を巡る。東北と北海道を組み合わせた旅程の中で、津軽鉄道ストーブ列車、雪景色、青森の伝統文化を楽しませる贅を尽くした宿など冬の魅力をあますことなく堪能し、地域への経済効果も高い。 東北・北海道の良さを参加者が心ゆくまで満喫できるプログラムで年間を通しての業績を称え、モチベーションアップも期待され、次年度の成績に繋がるような内容のツアーであると評価された。</p>		
旅程(抜粋)	<p>【1日目】 台湾発～仙台着 三井アウトレットパーク仙台港～ホテルメトロポリタン仙台 【2日目】 山形蔵王ロープウェイ～中尊寺(金色堂)～鶯宿温泉 ホテル森の風鶯宿 【3日目】 八幡平(雪遊び)～十和田現代美術館～星野リゾート青森屋 【4日目】 奥入瀬渓谷～立佞武多の館～津軽鉄道ストーブ列車～ JR新幹線(青森～函館)～函館夜景/函館山ロープウェイ～函館 【5日目】 函館～五稜郭城跡(五稜郭タワー)～函館朝市～金森赤レンガ倉庫 函館発～台湾着</p>		

企 画 賞			
イベント名	Tungaloy India Pvt. Ltd.	日数・参加人数	8日間・53名
受賞者	Kulin Kumar Holidays Pvt. Ltd.	所在国・地域	インド
受賞理由	<p>金属部品メーカー社員を対象としたツアー。 いわき市の本社訪問を軸に、パナソニックリビングで自社製品の果たす役割を視察。 鎌倉、足利、軽井沢、立山黒部アルペンルート等、インド市場にとって自然と歴史の豊かな新しい日本の観光地を巡ることで得たひらめきは、新たなビジネスを創出する効果が期待される。 今後、訪日インセンティブ市場において大きな需要が見込まれるインド発の斬新なコースであると評価された。</p>		
旅程(抜粋)	<p>【1日目】 ムンバイ発 【2日目】 東京着 シティツアー～パナソニックリビング～東京スカイツリー 【3日目】 東京～富士山～東京 【4日目】 東京～いわき市 Tungaloy工場ツアー～いわき市 【5日目】 いわき市～Tungaloy本社でのセミナー～ガラディナー 【6日目】 いわき市～あしかがフラワーパーク～軽井沢 【7日目】 軽井沢～扇沢～立山観光(アルペンルート)～富山(飛行機)～東京 【8日目】 東京発～ムンバイ着</p>		

貢 献 賞			
イベント名	TOP ACHIEVERS OKINAWA TOUR 2017	日数・参加人数	10日間・67名
受賞者	JTB Australia Pty. Ltd.	所在国・地域	オーストラリア
受賞理由	<p>自動車メーカーの販売成績優秀者及びその家族を対象としたツアー。 沖縄では高級リゾートに5連泊。ビーチリゾートのみならず海軍司令壕、首里城訪問等地域の歴史と文化への理解を深める旅程が組まれている また、東京でのユニークベニューを利用したパーティーや、沖縄のビーチでのバーベキューディナーと両方の地域の魅力を満喫している。大人も子供も楽しむことができるようプログラムに工夫が見られ、地域への経済効果も高い。 「都市+リゾート」といった今後日本が誘致したいインセンティブ旅行の好事例と評価された。</p>		
旅程(抜粋)	<p>【1日目】 ブリスベン/メルボルン発～東京着 【2日目】 シドニー/アデレード/パース発～東京着 【3日目】 自由行動～ディナー 【4日目】 沖縄到着(ザ・ブセナテラス宿泊) 【5日目】 美ら海水族館～万座毛～シーフードバーベキューディナー 【6日目】 津堅島でのオプションツアー 【7日目】 自由行動(レジャー)～万国津梁館でのフェアウェルディナー 【8日目】 自由行動(レジャー)～オプションツアー 【9日目】 沖縄～東京発 【10日目】 オーストラリア着</p>		